

## 📄 リハビリ用語・言い換え変換チェックリスト

### 1.【部位・基本動作】身体機能の言い換え

専門用語(NG:伝わりにくい)	🔴 生活語(OK:伝わる表現)	チェック
支持性低下(立位・下肢)	「立っていると膝がガクッと折れそうになる(膝崩れ)」	[ ]
巧緻性低下(手指)	「お箸で豆をつまむような細かい動きが難しい」	[ ]
耐久性低下(持久力)	「5分ほど歩くと息が切れて、座り込みたくなる」	[ ]
関節可動域制限(ROM)	「腕が肩より上に上がらないため、高い所の物が取れない」	[ ]
筋緊張亢進(痙性)	「力が入りすぎて、肘や指を伸ばすのが難しい」	[ ]

### 2.【ADL・応用動作】日常生活の言い換え

専門用語(NG:伝わりにくい)	🔴 生活語(OK:伝わる表現)	チェック
歩行:見守り	「一人でも歩けるが、方向転換時にふらついて危ない」	[ ]
更衣:中等度介助	「袖に手を通す時にバランスを崩やすく、支えが必要」	[ ]

整容:概ね自立	「洗顔や歯磨きは一人でできるが、準備と片付けに手伝いが必要」	[ ]
排泄:一部介助	「便座への座り込みと、お尻を拭く時だけ手助けが必要」	[ ]

### 3.【応用編】わかりにくい「高次脳・精神面」の言い換え

専門用語(NG:伝わりにくい)	<input checked="" type="radio"/> 生活語(OK:伝わる表現)	チェック
左半側空間無視	「左側にある障害物に気づかず、肩や車椅子をぶつけやすい」	[ ]
短期記憶障害	「さっき飲んだ薬のことを忘れて、何度も確認してしまう」	[ ]
注意障害(注意散漫)	「テレビがついていると、食事の手が止まってしまう」	[ ]
失行(道具の使用)	「歯ブラシで髪を解こうとするなど、道具の使い分けに迷う」	[ ]
自発性の低下	「自分から動き出すのが難しいため、定期的な声掛けが必要」	[ ]